

子宮がんには頸がん^{けい}と体がんの2種類があります

違いは次のとおりで、検診もそれぞれの部位のものがあります。

頸がん^{けい}

〔できる場所〕

子宮の入り口である頸部の上皮(表面の細胞)から発生します。

〔多い年代〕

- 20歳代から増加して、40歳代で最も多く(10万人あたり20~30人)がんと診断されています。
- 50歳以上では年々減っていますが、発症リスクはあります。
- 1年間に約11,000人ががんと診断され、約2,900人が亡くなっています。

〔かかりやすい人〕

- 子宮頸がんの原因は、主に性交渉で感染するHPV(ヒトパピローマウイルス)で、100種類以上あるうちの10数種類が強く関係します。このタイプのHPVはごくありふれたウイルスで、多くの女性が一生に一度は感染するといわれます。感染しても、必ずしもがんになるわけではありませんが、うち10%前後の方が持続感染となり、最終的にその一部の方が子宮頸がんになります。
- 喫煙者はリスクが高くなります。

体がん

〔できる場所〕

子宮の奥にあたる体部のうちの内膜から発生します。

〔多い年代〕

- 50歳代から60歳代で最も多く(10万人あたり40~70人)がんと診断されています。
- 以前は少なかったのですが、全ての年齢層で年々増えています。
- 1年間に約18,000人ががんと診断され、約2,800人が亡くなっています。

〔かかりやすい人〕

- 閉経前後以降にリスクが高くなります。また、ホルモン補充療法を受けたり、閉経前の乳がんやホルモンの治療を受けたり、子宮内膜増殖症がある方などでなりやすいといわれています。
- 不規則な月経の方、無月経や排卵異常のある方、妊娠や出産の経験がない方がなりやすいといわれています。
- 肥満、高血圧、糖尿病のある方ではリスクが高くなります。



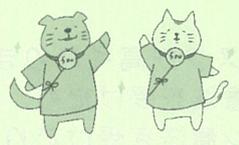
予防のために私たちにできることは検診です。
あなたがあなたの生命と子宮を守る確かな選択肢です。
定期的に検診を受けましょう。

参考：国立がん研究センターがん予防・検診研究センター編集「あなたを守りたい 子宮がん検診」
国立がん研究センターがん情報サービス

(名古屋市健康福祉局・名古屋市医師会・愛知県産婦人科医会)

名古屋市の子宮がん検診を受診される方へ

名古屋市の子宮がん検診には、子宮頸がん検診と子宮体がん検診があります。

区分	子宮頸がん検診	子宮体がん検診
対象	<p>20歳以上の女性で、前年度に名古屋市の子宮がん検診を受診していない方</p> <ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がんは主に性行為で感染するHPV（ヒトパピローマウイルス）が原因であり、一般的には性交渉の経験がある方が対象となります。性交渉の経験の無い方は検診前に医師に相談して下さい。 何らかの理由で子宮を全て摘出された方は対象になりません。 	<p>子宮頸がん検診を受診した方のうち、次に該当する方については、<u>まず医療機関での診察をおすすめしますが</u>、受診者ご本人が同意のもと、子宮頸がん検診に引き続き子宮体がん検診を受診できる場合があります。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>最近6か月以内に次のア～ウのいずれかの症状があった方</p> <p>ア 不正性器出血（一過性の少量出血、閉経後出血など）</p> <p>イ 褐色のおりもの</p> <p>ウ 月経異常（過多月経、不規則月経など）</p> </div>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●問診 ●視診、内診 内診台にあがり、医師が視診と内診を行い、子宮全体と卵巣・卵管の状態を確認します。 ●頸部細胞診 子宮頸部の細胞を綿棒などで採取し、異常な細胞があるかどうかを調べます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子宮内膜細胞診 子宮内膜の細胞を専用の器具で採取し、異常な細胞があるかどうかを調べます。 
自己負担金	<p style="text-align: center;">500円（子宮体がん検診を含む）</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●無料クーポンをお持ちの方は子宮頸がん検診は無料ですが、子宮体がん検診は別途500円が必要です。 ●その他、70歳以上の方や、市民税非課税世帯などの方には、免除制度があります。証明書類が必要ですので詳しくは医療機関にお問い合わせください。 </div> </div> <p><small>わんこいん にゃんこいん (ワンコインがん検診広報キャラクター)</small></p>	

※ がんは早期のうちには自覚症状がないものが多いので、症状がなくとも2年に1度の検診をおすすめします。

※ 細胞診検査では稀に正しく判定できない場合があります。検診の結果「陰性（異常を認めず）」と判定された場合でも、今後、不正性器出血（一過性の少量出血、閉経後出血など）などの自覚症状がみられた場合は医療機関を受診して下さい。

※ 子宮体がんは、症状が進行していない早期の段階で出血をきたすことが多く、不正性器出血での発見が約90%といわれています。少量でも出血があったり、下着にしみが付いたり、下腹部痛がある場合にも、すぐに医療機関を受診していただければ早期発見が可能です。

※ 検診の結果「要精密検査」となった方には、後日名古屋市から受診状況についての問い合わせをすることがあります。

※ 精密検査費用および病気が発見された場合の治療費は、医療保険扱いとなり、別途料金が必要です。